



第51号

梅苑会報



福島県立福島高等学校

令和

の時代に



「社会が求める力とは」



大学入試は、高校生にとって将来を左右する一つの関門ともいえる。その入試制度は時代によって変化してきた。昭和24年に始まった一学期・二学期制、昭和54年にはマークシート導入による共通一次試験、平成2年からは大学入試センター試験、そして来年度から新たに大学入試共通テストへと変わっていく。

これからの社会を牽引する子供たちには、複雑化・高度化する情報社会の中で迅速かつ的確に判断し行動する力が求められている。本校では一昨年より、これらの力を身に付けるために生徒全員が課題研究に取り組んでいる。学力以外にも様々な能力を求められる生徒たちの活躍に期待したい。

column

『しのお草』続報

会報第45号、47号に掲載されました「しのお草」についてですが、まだ7号だけが見つかっておりません。どなたか情報をお持ちの方は、事務局までご一報ください。

第7号をお持ちの方はいませんか？



令和2年度予算書（令和元年9月1日～令和2年8月31日）

令和2年度 一般会計予算書(案)

1.収入の部			(単位：円)
項目	予算額	摘要	
(1)繰越金	624,127		
(2)入会金	945,000	卒業生（315名×3,000円）	
(3)年会費	2,315,000	卒業生（315×1,000円） 同窓会会員（約1,000名×2,000円）	
(4)雑収入	100	利息	
(5)繰入金	1,000,000	母校後援会会計より	
合 計	4,884,227		

2.支出の部			(単位：円)
項目	予算額	摘要	
1.事業費	4,000,000		
(1)総会費	680,000	定期総会開催に関する費用	
(2)会報費	3,000,000	梅苑会報印刷、郵送代、振替用紙	
(3)母校後援費	290,000	卒業生証書ホルダー	
(4)特別事業費	30,000		
2.運営費	875,000		
(1)会議費	200,000	役員会、幹事会	
(2)事務諸費	5,000	文員費	
(3)交際費	100,000	関東・みやぎ梅苑会お祝い、職員饗別、その他	
(4)慶弔費	20,000		
(5)通信費	40,000	切手、葉書代	
(6)旅 費	500,000	関東・みやぎ梅苑会出席者旅費	
(7)雑 費	10,000		
3.予備費	9,227		
合 計	4,884,227		

項目間の流用をお認め願います。

令和2年度 母校後援会会計予算書(案)

1.収入の部			(単位：円)
項目	予算額	摘要	
(1)繰越金	6,053,112		
(2)会費	1,700,000	卒業生(315名×1,000円)、同窓会会員(約500名)	
(3)雑収入	50	利息等	
合 計	7,753,162		

2.支出の部			(単位：円)
項目	予算額	摘要	
(1)後援会費	300,000	H P更新、母校への助成等	
(2)部活動助成	300,000	全国大会出場への激励金	
(3)一般会計	1,000,000	一般会計への繰入金	
(4)太宰府梅基金	500,000	太宰府梅基金への繰り入れ金	
(5)梅苑会館維持管理費	500,000	梅苑会館維持管理への繰り入れ金	
(6)会員名簿管理費	710,000	平成31年度分（令和元年度分）	
(7)母校設備費	1,500,000	iPad購入	
(6)予備費	2,943,162	額縁購入、その他等	
合 計	7,753,162		

項目間の流用をお認め願います。

令和2年度 梅苑会館維持管理会計予算書(案)

1.収入の部			(単位：円)
項目	予算額	摘要	
(1)繰越金	3,894,233		
(2)積立金	500,000	母校後援会会計より	
(3)雑収入	50	利息等	
合 計	4,394,283		

2.支出の部			(単位：円)
項目	予算額	摘要	
(1)修繕費	300,000		
(2)予備費	4,094,283		
合 計	4,394,283		

項目間の流用をお認め願います。

令和2年度 太宰府梅基金会計予算書（案）

1.収入の部			(単位：円)
項目	予算額	摘要	
(1)繰越金	2,956,774		
(2)同窓会梅基金	500,000	母校後援会会計より	
(4)雑収入	100	利息等	
合 計	3,456,874		

2.支出の部			(単位：円)
項目	予算額	摘要	
(1)飛び梅交際費	450,000	交際費、接待費、諸経費等	
(2)飛び梅管理費	60,000	肥料・消毒代等	
(3)予備費	2,946,874		
合 計	3,456,874		

項目間の流用をお認め願います。

令和2年度 一六回奨学会会計予算書(案)

1.収入の部			(単位：円)
項目	予算額	摘要	
(1)繰越金	8,000,214		
(2)同窓会寄付金	0		
(3)雑収入	50	利息	
合 計	8,000,264		

2.支出の部			(単位：円)
項目	予算額	摘要	
(1)交付金	3,500,000	令和2年度交付金（7名）	
(2)予備費	4,500,264		
合 計	8,000,264		

項目間の流用をお認め願います。

平成31年度決算書（平成30年9月1日～令和元年8月31日）

平成31年度 一般会計決算書

収入決算額・・・5,233,251円 支出決算額・・・4,609,124円 次年度へ繰越額・・・624,127円

1.収入の部			(単位：円)
項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	389,244	389,244	
(2)入会金	963,000	948,000	卒業生（316名×3,000円）
(3)年会費	2,921,000	2,896,000	卒業生(316名×1,000円) 会員(1,002名)
(4)雑収入	30,000	7	利息等
(5)繰入金	1,000,000	1,000,000	母校後援会会計より
合 計	5,303,244	5,233,251	

2.支出の部			(単位：円)
項目	予算額	決算額	摘要
1.事業費	4,000,000	3,833,993	
(1)総会費	680,000	656,806	定期総会開催に関する費用
(2)会報費	3,000,000	2,851,587	梅苑会報印刷、郵送代等
(3)母校後援費	290,000	279,240	卒業生証書ホルダー
(4)特別事業費	30,000	46,360	120周年記念式典旅費（関東・みやぎ）
2.運営費	875,000	775,131	
(1)会議費	200,000	213,297	H30年第2回、H31年第1回役員会
(2)事務諸費	5,000	0	
(3)交際費	100,000	50,000	関東・みやぎ梅苑会参加費、転出者饗別
(4)慶弔費	20,000	0	
(5)通信費	40,000	28,164	往復葉書、切手
(6)旅 費	500,000	483,670	関東・みやぎ梅苑会出席旅費
(7)雑 費	10,000	0	
3.予備費	428,244	0	
合 計	5,303,244	4,609,124	

平成31年度 母校後援会会計決算書

収入決算額・・・8,594,868円 支出決算額・・・2,541,756円 次年度へ繰越額・・・6,053,112円

1.収入の部			(単位：円)
項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	5,854,800	5,854,800	
(2)会費	1,200,000	1,240,000	卒業生（316名×1,000円） 会員（462名）
(3)雑収入	1,000	1,500,068	利息、120周年残金
合 計	7,055,800	8,594,868	

2.支出の部			(単位：円)
項目	予算額	決算額	摘要
(1)後援会費	300,000	189,216	同窓会HP利用・更新、賞状名入れ、記念品
(2)部活動助成	300,000	150,000	全国大会出場助成等
(3)梅苑会館維持管理費	500,000	500,000	梅苑会館維持管理への繰り入れ
(4)会員名簿管理費	710,000	702,540	会員データ管理業務
(5)予備費	5,245,800	1,000,000	一般会計への繰り入れ
合 計	7,055,800	2,541,756	

平成31年度 福島高校同窓会梅苑会館維持管理会計決算書

収入決算額・・・4,227,305円 支出決算額・・・333,072円 次年度へ繰越額・・・3,894,233円

1.収入の部			(単位：円)
項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	3,727,273	3,727,273	
(2)積立金	500,000	500,000	母校後援会会計より
(3)雑収入	50	32	利息
合 計	4,227,323	4,227,305	

2.支出の部			(単位：円)
項目	予算額	決算額	摘要
(1)修繕費	200,000	333,072	梅苑会館修繕費 (洗濯機修理、梅苑会館椅子代)
合 計	200,000	333,072	

平成31年度 県立福島高校同窓会太宰府梅基金会計決算書

収入決算額・・・3,422,612円 支出決算額・・・465,838円 次年度へ繰越額・・・2,956,774円

1.収入の部			(単位：円)
項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	2,547,592	2,547,592	
(2)同窓会梅基金	650,000	640,000	同窓会会員
(3)雑収入	100	235,020	寄付金、利息
合 計	3,197,692	3,422,612	

2.支出の部			(単位：円)
項目	予算額	決算額	摘要
(1)飛び梅交際費	450,000	395,314	旅費、接待費、贈答品
(2)飛び梅管理費	40,000	11,124	消毒代
(3)予備費	2,707,692	59,400	飛梅名前札看板代
合 計	3,197,692	465,838	

平成31年度 福島高校同窓会一六回奨学会会計決算書

収入決算額・・・9,500,214円 支出決算額・・・1,500,000円 次年度へ繰越額・・・8,000,214円

1.収入の部			(単位：円)
項目	予算額	決算額	摘要
(1)繰越金	9,500,134	9,500,134	
(2)寄付金	0	0	
(3)雑収入	50	80	利息
合 計	9,500,184	9,500,214	

2.支出の部			(単位：円)
項目	予算額	決算額	摘要
(1)交付金	3,500,000	1,500,000	平成31年度交付金（3名）
合 計	0	1,500,000	

昨年5月1日の改元により平成から令和へと元号が変わりました。以来今日までいろいろな行事、出来事に「令和初の」という枕ことばが使われています。今年3月の卒業式は令和初の卒業式、4月の入学式は令和初の入学式となるわけで、今年の卒業生、入学生にとって人生の節目にあたり一段と意義深く感じられることと思います。

「令和」の典拠は万葉集のなかの一文とされています。新元号の由来となった序文の一節「初春令月、気淑風和」は、8世紀大宰府に任官していた大伴旅人の邸宅で催された梅花の宴にまつわるもので、大宰府がゆかりの地とされます。

時代はやや遅れ10世紀太宰府の地に、菅原道真公をお祀りする太宰府天満宮が創建されました。

太宰府天満宮と福島高校同窓会とは縁浅からぬものがあります。東日本大震災の後逆境に

あった福島高校に太宰府天満宮より心を寄せていただき、平成26年2月五本の梅の若木を恵与賜りました。以来「平成の飛び梅」とも称される、心温まる交流が続いています。

こうしてみると、新元号「令和」から、万葉集の梅花の宴、大宰府、太宰府天満宮、福島高校の梅、福島高校同窓会まで見事に繋がるではありませんか。あらためて福島高校同窓会と太宰府天満宮とのご縁を感じる次第です。

昨年は、令和初の「一六回奨学金」奨学生として第4期3名が決定され、令和初の8月に奨学金授与式を行いました。奨学生諸君にはそれぞれの進路で大いに力を発揮されるよう期待しています。

5月24日には東京グリーンパレスにおいて令和初の関東梅苑会総会が開催され、9月12日にはハーネル仙台において令和初のみやぎ梅苑会総会が開催され

ました。

11月22日には福島グリーンパレスにおいて、令和初の本会総会を開催しました。在校生の梅章應援團、チャリデーイング部による記念演舞に会場は大いに盛り上がり、300名を超える会員の熱心なご参加を得て盛会裡に終えることができました。

総会において会長再任とされました。会員の皆様にはあらためて特段のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

【注】一般には古代律令時代の役所およびその遺跡に関する名称は「大宰府」、中世以降の地名や天満宮は「太宰府」と表記し使い分けている（太宰府市文化財課）

福高同窓会総会

令和元年度「福高同窓会総会」が11月22日（金）18時からホテル福島グリーンパレスで開催されました。総会に先立って現役応援団・チャリダー部の演舞があり、女子部員のみという構成に同窓生が驚かれるなか、しっかり活動してくれました。

総会では、物故者への黙祷を行った後、会長・校長の挨拶があり、各議案の承認、役員改選により渡辺会長の再任がなされました。続いて行われた懇親会も盛況であり、最後は応援団OBの指揮のもと校歌を高らかに歌い、幕を閉じました。



関東梅苑会だより

変わりゆく時代の流れ

—Q— 中学まではどんなこともでしたか？

出身は旧伊達郡飯野町（現在は福島市飯野町）、まだ国鉄の川俣線があった時代で、実家は山分酒店という酒屋です。お店の屋号が「山分」でしたので、こどもの時は「やまぶん君」な

鈴木美慧（高59回）



サントリー食品インターナショナル株式会社

代表取締役社長 齋藤 和弘さん（高校27回）

【プロフィール】

1974年3月 福島高校卒
1979年3月 早稲田大学法学部卒
1979年4月 サントリー株式会社
（現サントリースピリッツ株式会社）入社
1999年1月 同社食品事業部部長
2005年9月 同社食品事業部副事業部長
2009年4月 サントリーホールディングス株式会社
執行役員 常務取締役
サントリー中国ホールディングス有限公司
副社長、中国食品事業部長
2011年1月 サントリー中国ホールディングス有限公司
社長、中国ビール・黄酒事業部長
2014年4月 サントリー食品インターナショナル株式会社
常務執行役員（経営企画本部担当、経経本部長）
2015年4月 サントリー食品アジアCEO
2016年4月 常任顧問、サントリー食品アジアCEO
2019年4月 代表取締役社長

福高・大学で培ったFrankな関係性 今でも生き方のベースになっています

どと呼ばれ、阿武隈川のダムで釣ったオイカワをその場で素揚げして食べたり、アケビやクリを採って食べたり、飯野小学校の下の川でヤツメウナギを捕まえ小遣い稼ぎしたり、まるで縄文時代のような狩猟採集生活を楽しんでいました（笑）。

福高生を存分に謳歌

—Q— 福高時代の思い出を教えてください。

通学は、飯野駅から川俣線に一駅乗って、松川駅で東北本線に乗り換えて福島駅まで通う、いわゆる「汽車通」でした。通学は下駄を履いていたので、同じ車両の他高生に「にしや、ガタガタとうるせーな（お兄さん、下駄がガタガタうるさいぞ！）」などと絡まれたり、下駄が割れて福島駅から裸足で登校したことなど、今ではとても考えられないですね。



卒業アルバムから

同級生に誘われて入った生徒会では、先生方を巻き込んでいろいろな活動をしました。生徒会の合宿を行ったり、先生に掛け合って本来ないはずの3年生の遠足を企画、バスを手配して大勢で吾妻山に行ったこともありました。体育の大河原先生は柔道の授業なのに朝練を行い、真冬に校庭を裸足で走らせられたのもいい思い出です。

学校生活ではあまり生徒の行動に口出しせず自由にやらせてくれましたし、福高にはユニークな先生が多かったと思います。福高OBの先生が沢山いたので、いい意味で旧制中学時代の香りが残っていたように思いますし、それが福高の魅力です。

JAZZ喫茶に入り浸るほどに高校生活を謳歌し過ぎて成績はがた落ちし、きっぱり国立理系の受験には見切りをつけて私立大の法学部に狙いを定め、早稲田大に進学しました。大学に入ったものの、ドイツ語を選択したので女子生徒がほとんどいなくて男子校のようだとがっかりでした（笑）。

異動で出会った清涼飲料水

—Q— サントリーや、お仕事の魅力は？

サントリーに入社が決まって、配属は総務部文書課と聞いていましたが、実際は営業所勤務でした。営業は、新人とはいえ得意先とのコミュニケーションや商品知識などが必要な仕事です。仕事を通して見える酒屋や問屋の様子と実家の雰囲気はもちろん違いましたが、酒屋で育ってきたので現場回りはおもしろく、客先と自然にコミュニケーションがとれたことは強みでした。

お陰で営業成績は順風満帆でしたが、3年くらい経った時、上司と意見があわなくて、結果的に清涼飲料水の部門に異動になりました。当時、清涼飲料水部門は赤字事業でしたが、1981年に烏龍茶、そのあと缶コーヒのBOSがヒットして、清涼飲料水の売れ行きが伸び始めようとしていましたので、今思えば生意気ゆえに異動となったことにほんとに感謝し



卒業アルバムから

ています（笑）。

いまでは清涼飲料水は日常生活に根差した飲み物になっていますが、味の地域差は大きく、お茶で言えば、西日本は淡みが好まれ、東日本はうま味が好まれます。そのため、地域に合わせた商品開発のために、酒造部門と清涼飲料水部門がそれぞれ持っている知識・経験・技術をシェアして「One SUNTORY」で取り組んでおり、それは海外展開にも活かされています。

日本では、高齢化社会はマーケットが縮小していく印象が持たれています。でも見方を変えて、たとえば高齢になると体内の水分保持量が減っていくので、それを補う商品を開発すればマーケットは広がります。無糖茶を世界で初めて開発してマーケットが広がりましたし、さまざまな点から健康管理のことを考えなくてはならない時代になっています。自由にならぬ発想で商品を作り出せることが、清涼飲料水のマーケットの魅力だと思っています。

「観自在」の生き方

—Q— 仕事で大切にしている価値観は？

大事にしている言葉は「観自

在」。早稲田大学時代に刑法の先生から教わった言葉です。要は「人、もの、マーケットを見るときに偏見をもたない」ということ。仕事をするときにはFair, Flat, Flexible, Frank, Funを意識しています。私からみて公平ということではなく、誰からみても公平であること。特にあまり組織のレイヤーを厚くないFrankが大切な。

もちろんFUDも大事です。いつも楽しめる環境にいるわけだけではありませんが、無理矢理にでも楽しもうと心がけています。仕事のために人生があるのではなく、人生のための仕事。仕事と生活の優先順位を間違えてはいけないと思っています。

私が社長になってからは、社長室をなくし、社長室はミーティングルームとしてみんなが使えるようにしました。自分の席はメンバーと同じ場所にあるのですが、これはアジアの会社では一般的で、組織がフラットであることを目指すのなら、お互いの目の高さもフラットに、という考えからです。それに、現場にいる方が性に合っているのか、メンバーと気軽にディスカッションできる方が、自分にとって効率がいいというのがありますね。



Growing for

の販売部門や海外から異動してきたメンバーと交流会を行うようにしました。家族がいる社員にも就業時間中に参加してもらえよう、夕方4時頃から始めています。ビール事業部やワイン事業部から来た社員から、それぞれの商品のレクチャーやおいしい飲み方を教えてもらったり、ご当地グルメ自慢大会なども企画しています。

紅葉漬とイカ人参、しそ巻き、いわきのソフト揚げ、メヒカリ、会津のニシン漬けと、イギリスのウェールズから来ている社員が持ってきた食材を比べて、どっちの料理が美味しいか？などど対戦したことがあります。もちろん福島産が圧勝でした（笑）。

会社でも個人でも大事にしていることは「Growing for

大災害を目の当たりにして

—Q— 東日本大震災後、感じたこと

震災の前年から中国に赴任していて、帰国して出席した役員会の最中、お台場の自社ビルで被災しました。出席者の中に阪神淡路大震災を経験した役員が多かったこともあり、必要な議題だけを早々に済ませて終了しましたが、しばらく台場から出ることができませんでした。

実家の家族の無事や親戚の様子を確認できたのは、だいぶ時間が経ってからでした。今年、震災から10年目になります。避難生活の中で新しい仕事を見つけ、仮住まいから出て新しい家を建て生活の基盤ができてくると、今度は元々の生活の場所には戻りにくくなっていることな



ど、この10年は故郷の福島の人々の生活を大きく変えました。インドネシアに赴任しているときにも、火山による津波で大きな被害がありました。東日本大震災の時と同じように山際まで津波が押し寄せ、その後、瓦礫の下で人を探す様子を目の当たりにして、なんとも言えない気持ちになりました。現地の企業と協力してなるべく迅速で効果的な支援を行いました。インドネシアはまだまだ自治体や支援体制が十分ではないので、現地の人に直接支援が届くような仕組みを考えなければなりませんでした。

企業としては株主のために利益を上げるということも重要ですが、飲料水などの自社商品の支援を通じ、将来の需要に向けて布石を打ち、未来に投資することも大切です。大震災の経験を生かして、企業として取り組むべき災害への準備や対策について多くのことを考えさせられました。

「ことばの引き出し」と「石の上にも3年」

Q: 福高生や後輩にエールを後輩に伝えたいことの1つ目は「ことば（言語・表現）の引き出しを増やす」ということです。その内容はどんなことでも構いません。歴史を知ることや音楽でもいいですし、旅先で地域の食文化に触れることや本、アニメでもいいと思います。社会に出て世界をより広く捉えていくためにはイメージの幅を広げ、そしてイメージを言語化していく力が必要です。この「ことばの引き出し」を増やしていくのは一朝一夕には難しいので、高校や大学で過ごす貴重な時間を有効に使ってほしいと思います。

2つ目は、社会人になったら、労働環境がよほど劣悪な企業でない限り、嫌な仕事でも最低3年、できれば5年続けることをおすすめします。社会人になると、学生の時に使っていた言語の意味や価値、表現が往々にして異なるものです。現代は仕事が多様化しており、それをしてしっかり理解し正しく使えるようになるには、3年や5年の年月が必要です。そうして次のステップに進めば、それまで学び、習得してきた技術や経験がきつと活かせると思います。

みやぎ梅苑会だより

Ⅱ 広げよう！親睦と交流の輪をみやぎ梅苑会Ⅱ みやぎ梅苑会総会・懇親会開催

令和元年度みやぎ梅苑会総会が9月12日（木）仙台市青葉区のハーネル仙台にてご来賓を含む80歳代まで56名の出席者が集い開催されました。

総会では橋本俊一氏（高21回）の司会のもと物故会員に黙祷を捧げた後、佐藤隆会長（高15回）が「同窓生の絆を深め、同窓会を盛り上げていきたい」と挨拶し議長席に着きました。

議案として①平成30年度事業報告・会計報告および監査報告、②平成31年度（令和元年度）事業計画案・予算案が審議され何れも満場一致で承認されました。

恒例の懇親会は同窓会の渡辺健寿会長、母校より竹田真二校長、吾妻学後援会長、豊田憲孝PTA会長、関東梅苑会より戸松哲男会長、島田久事務局長、同窓会本部より鈴木公一事務局長をご来賓にお迎えして開会いたしました。

ご来賓を代表して渡辺健寿会長、竹田真二校長からご挨拶をいただきました。



2020年 関東梅苑祭・合同同期会

関東梅苑会が主催する最も大切なイベントです。首都圏在住の大勢の卒業生が参加しますので、就活や仕事の情報交換など世代を超えた交流の機会に活用してください！

【日時】 2020年5月29日（金）18時受付
【会場】 東京グリーンパレス 千代田区麹町二番町2
【次第】 (1部) 18時30分 特別講演 飯舘村村長 菅野典雄さん（高17回卒）
(2部) 19時10分 懇親会 20時30分 閉宴
詳しくはホームページで www.kantobaienka.ne.jp

特別講演 スペシャルゲスト



東日本大震災から今年で10年目を迎えるにあたり、特別講演のスペシャルゲストとして、長らく飯舘村復興に取り組んでこられた菅野典雄村長（高17回卒）をお迎えいたします。

菅野村長に福島高校の思い出などをお伺いしました。

飯舘村村長 菅野典雄さん（高校17回卒）

昭和37年に入学し、1学年は8クラスで約400人ほどでした。当たり前ですが、共学の今と違って男ばかりですから、何とも殺風景だと思ったものです。毎学期ごとの定期試験では上位成績者の名前が廊下に貼られる友だちの名前を見るにつけ、「一体いつ勉強しているんだろう？」といつも感心していました。彼らが1時間で理解してしまふことを自分は3時間かけてやるしかない、と心に刻んだことは今でも役に立っています。

酪農家から村長に

父が教育長でしたので、実家にいた数頭の牛の世話には主に母親の仕事でした。母の手助けをしようと酪農を学ぶために帯広畜産大に進み、卒業後に酪農家となりました。事業は拡大し、牛を60頭育てるほどになりましたが、平成元年より公民館館長の仕事に携わるようになりました。嘱託の立場でしたが実際はほぼフルタイムの勤務で、その7年間の実績が認められて村長に推され平成8年に初当選。東日本大震災を乗り越え、平成28年より6期目の村政を担っています。

いろんなお困りごと、AKAZA会（専門職（士業）交流会）にご相談ください。

AKAZA会とは弁護士、公認会計士、税理士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、不動産鑑定士、ファイナンシャルプランニング技能士等の専門職（いわゆる士業）が集まって情報交換等ができ、より専門的な交流ができるような会を作りたいという思いから、真田昌行さん（高32回・弁護士）、菅野剛広さん（高34回・ファイナンシャルプランニング技能士）、高原透さん（高39回・公認会計士）、竹石淳一さん（高39回・税理士）、上田信洋さん（高43回・社会保険労務士）の5人が発起人となり、士業の方、士業を目指す方を対象として福島高校同窓生の専門職の親睦を図り、情報交換を行い、絆を深める。福島高校同窓生で士業を志す同窓生のバックアップを惜しまない。福島高校同窓生の問題解決の手助けをする。

● みやぎ梅苑会の発展に貢献する。
という趣旨のもと、平成27年1月に発足しました。

第1回のAKAZA会では、その年



の7月27日に参加者12人で開催され、毎年冬と夏の年2回に開催することになり、現在10回まで行われています。AKAZA会では、福島高校卒業生、在校生、福島高校に関係する方々のお困りごとを承ります。相続問題、後見人、民事信託、不動産売買、住宅の建て替え、税金、労働問題、働き方改革、助成金、資産運用、許可可や争い事などでお困りの方はお気軽にお声がけください。

column

ゴルフ好きの方集まれ！ みやぎ梅苑会 ゴルフ部結成



みやぎ梅苑会ゴルフ部が結成されました。初代ゴルフ部部長は佐藤薫さん（高25回）。合言葉は、「梅苑会親善ゴルフ大会優勝！」

第1回ゴルフコンペは平成31年4月14日に富谷カントリークラブ（宮城県富谷市）で開催され、好天にも恵まれ40代～70代まで9名の参加で世代を超えた交流で楽しい1日でした。第2回ゴルフコンペは10月19日に行われる予定でしたが台風と降雨の影響で残念ながら中止となってしまいました。

次回のみやぎ梅苑会ゴルフコンペは令和2年春に開催の予定です。次回以降のゴルフコンペ日程についてはみやぎ梅苑会オフィシャルホームページにてご確認ください。福島高校のOB・OGでしたらどなたでも参加できますので沢山のご参加をお待ちしています。

QRコードを読み取ってご覧ください



総会の模様は、「みやぎ梅苑会 オフィシャルホームページ」ムービーにて配信



最後に関口哲雄副会長（高20回）の閉会挨拶で1年後の再会を期し、盛会裡に終了しました。

待ちしております。同じ学び舎を巣立った同窓生がご来賓の方々を含め互いにテーブル間を移動し、世代・職域を超え和気藹々と賑やかに交流をいたしました。

その後、出席者全員で校歌を高らかに歌い上げ、応援歌とエールにて熱気は更にヒートアップ、参加者から「楽しかった。良かった。」との言葉をいただきました。

令和二年度の大学入試センター試験の志願者数は五十五万七千六百九十九人で昨年より一万九千三十一人減少した。なお福島県内では昨年度とほぼ同じ出願数であった。現二年生からは「大学入学共通テスト」に変わるため今年度が最後のセンター試験となる。新制度を意識したと思われる対話形式の問題、イラストから選ぶ問題、実験を題材とした問題などが見られたが、本校生は落ち着いて二日間の試験に臨んだようである。

全国の科目別平均点では、受験者数が多い英語筆記、数学Ⅰ・ⅡBで難化した。昨年易化した国語の点数は前年並みであった。理科の平均点がやや下降したものの、極端に難しいと感じられる科目はなく、七科目の平均点（九百点満点）は文系・理系ともに昨年度を二十点前後下回ることになりそうである。結果的に高得点者が少ない得点分布になっている。なお、理科や地歴公民の科目による点数差は比較的小さく、受験生にとっては公平な結果になったと言える。

全国的な傾向としては、国公立大が堅調な人気を示す一方、私立大は今年度については堅実な出願

をする傾向が見られる。学部別動向にも変化が見られ、以前の経済系の人気に歯止めがかかり、国際学部や文学部が増加傾向にある。理工系は前年並みだが、分野による差が大きく、情報系の人気が高くなっている。また、文理融合型の学部の人気が高くなっている。医療系はやや減少している。

本校における志願動向だが、国公立では旧帝大を中心とした難関大学や地域拠点大学への出願もほぼ例年通りだった。具体的な出願数については下記の「入試出願状況」に示す。

今年は東北大の出願数はAO入試を含め増加したが、北海道大は減少した。福島大や山形大は昨年とほぼ同じ出願数であるが、近年増加していた新潟大は今年はお出願数が減少した。また、東京大・京都大・一橋大・東京工業大といった超難関校にも多くの本校生が挑戦する。

私立大学では例年通り首都圏の大学への出願が多いが、中央大・立教大などへの出願が増加した一方で、法政大・明治大などは減少しており、昨年に引き続き以前より少ない出願数となっている。

新しい入試制度をはじめとして様々な変化が待ち受けているが、福高の精神である「世の為たれ」の実現に向け、全国津々浦々に美しい梅花を咲かせてもらいたい。

入試出願状況（現役の延べ数・推薦、AOは含まない） 2月6日現在					
項	大学名	令和元年	平成31年	平成30年	平成29年
国公立大	北海道大	10	23	11	16
	岩手大	3	7	3	11
	東北大	59	54	77	59
	山形大	30	32	16	23
	福島大	91	91	69	68
	茨城大	11	17	9	8
	筑波大	13	17	9	18
	宇都宮大	11	8	11	6
	埼玉大	19	14	19	14
	千葉大	23	30	26	31
	東京大	9	14	14	10
	東京外語大	6	1	4	5
	東京工業大	0	5	3	6
	一橋大	1	4	2	0
	横浜国立大	2	6	6	2
	新潟大	39	52	46	52
私立大	京都大	8	6	2	4
	その他	62	45	62	66
	県立医科大	17	36	33	22
	県立会津大	4	3	3	3
	高崎経済大	2	9	14	7
	その他	25	31	21	46
	東北学院大	25	25	16	13
	青山学院大	10	8	28	19
	慶應義塾大	9	8	12	8
	上智大	5	3	4	10
	中央大	36	31	47	66
	東京理科大	21	27	14	21
	日本大	13	25	18	25
	法政大	26	40	68	50
	明治大	35	44	67	58
	立教大	17	14	20	33
	早稲田大	33	39	54	56
	その他	328	289	327	254
国立大学合計		397	426	389	399
公立大学合計		48	79	71	78
私立大学合計		558	553	675	613
総計		1,003	1,058	1,135	1,090

大学合格者数（過年度卒を含む）						
項		平成 31年	平成 30年	平成 29年	平成 28年	
合格者数	国公立大	北海道大	3	6	4	6
		岩手大	5	2	5	5
		東北大	29	34	34	40
		山形大	19	6	12	14
		福島大	36	25	36	29
		茨城大	4	3	2	8
		筑波大	8	2	5	6
		宇都宮大	5	8	3	3
		埼玉大	13	6	10	8
		千葉大	13	14	8	12
		東京大	4	5	3	6
		東京外語大	1	1	2	2
		東京工業大	1	0	3	1
		一橋大	3	0	0	0
		横浜国立大	2	0	3	4
		新潟大	31	13	20	16
	京都大	3	3	2	2	
	その他	19	38	26	29	
	県立医科大	12	18	20	17	
	高崎経済大	4	4	2	1	
	その他	10	11	18	13	
	小計	225	199	218	222	
	私立大	慶應義塾大	5	2	7	11
		早稲田大	12	14	23	27
		中央大	18	19	35	31
		明治大	16	27	27	27
		法政大	11	15	25	33
		立教大	6	7	14	9
		日本大	15	22	23	18
東北学院大		22	13	6	7	
同志社大		2	8	4	2	
その他		192	210	239	278	
小計		299	337	403	443	
準大		2	0	2	2	
短期大		1	2	0	3	
各種学校	2	2	1	4		
合計	529	540	624	668		
就職	1	3	0	0		



福島高等学校長
竹田 真二

「不易と流行」

福島高校2年目となりましたが、今年度は若干の寂しさを感じて新しい年度のスタートを切りました。それは、1年生が1学級減の7学級（280名）となったことでもあります。数字の上での8から7への変化は、入学式での整列の様子や梅桜戦（福島東高校との野球の定期戦）での応援の様子を目の当たりにし、現実としての実感となりました。

今年度から、県教育委員会による県立高等学校改革が開始されました。その趣旨は、少子化や東日本大震災・原子力災害からの復興・再生などへの対応として、各高等学校の新たな在り方を検討し、特色化と再編整備を図る中で、より良い教育環境を提供できるような魅力ある県立高等学校づくりを推進することにあります。

その中で、望ましい学校規模を1学年4〜6学級とし、統合及び学級減が進められており、本校の学級減もその一環であります。

現在、女子生徒の割合は45%で、年々徐々に高くなっており、生徒会役員や梅苑祭実行委員などは、女子が大半を占めるという状況であります。時の流れとともに、世の中は変わり、それに合わせて学校も変わって

いく、福島高校も例外ではないということを実感しております。同窓会におかれましては、今年も、全国大会出場者への激励金や一六回の奨学金など数々の御支援ありがとうございます。加えて、今年は生徒が使用するタブレット端末を40台寄贈していただき感謝申し上げます。

さきほど、福島高校の変化について申し上げましたが、一方、応援歌講習や梅苑祭は変わらず続いております。変わらなければならぬ部分は残していきたいと考えておりますので、今後とも御支援をお願いいたします。

部活動成績

- 【陸上競技部】
- 全国高等学校体育大会
男子 100 m 大町知寛
男子 400 m 木戸悠介
- 【アーチェリー部】
- 全国高等学校体育大会
男子団体 佐藤皓太郎・小林歩夢・金澤司・大橋縁史
女子個人 霜山瑞樹
- 【将棋部】
- 全国高等学校総合文化祭
男子団体 柳田瞭・熊谷恭平・木口創太郎

- 【囲碁部】
- 全国高等学校総合文化祭
団体戦 海野瑤佳

福高生、全国で活躍!!

- 【管弦楽部】
- 第8回日本学校合奏コンクール 2019 全国大会
- 【スーパーサイエンス部】
- 全国高等学校総合文化祭
自然科学部門 佐々木隼暉・澁谷佳輝
 - 第9回科学の甲子園全国大会
高島元希・高野大輔・蓋尊哲・菊地裕斗・菅野宏輔・鈴木翼・横山航大・先崎啓太

- 【梅章委員会】
- 全国高等学校総合文化祭
新聞部門 浦山みなみ・藤田莉緒

寄贈図書紹介（平成31年1月～令和元年12月）

寄贈年月日	書名	著者名	寄贈者(敬称略)	寄贈年月日	書名	著者名	寄贈者(敬称略)
2019.01.25	IAEA査察官の最前線 特別編	川野修靖	川野修靖	2019.08.20	八代集表現思想史	秦澄美枝	秦澄美枝
2019.01.25	いっしょに 2018		高松ボランティア協会	2019.10.25	永田町政治の興亡	星浩	星浩(福高26回卒)
2019.01.25	読書の魅力を伝える講座		文字・活字文化推進機構	2019.10.25	皇室ファイル	共同通信社会部	高橋裕哉(福高36回卒)
2019.01.29	抜萃のつづり その七十八	熊平製作所	クマヒラ	2019.10.25	リベラルアーツという波動	伊東辰彦、森島泰則	国際基督教大学
2019.03.05	福島はあなた自身	一ノ瀬正樹	福高職員	2019.12.20	公共経済学で日本を考える	奥野信宏、他	福高2年生
2019.03.05	原発事故と「食」	五十嵐泰正	福高職員	2019.12.20	福島原発事故がもたらしたものの	前田正治	前田正治(SSHより)
2019.03.05	しあわせになるための「福島差別」論	池田香代子	福高職員	2019.12.20	警察の真髄	小野正博	小野正博(福高23回卒)
2019.03.05	都市行政の最前線	久末弥生	板垣勝彦(福高51回卒)	2019.12.20	世界最先端の社員教育	篠木雄司	篠木雄司(福高33回卒)
2019.03.05	朝河貫一と人文学の形成	海老澤表	甚野尚志(福高28回卒)	2019.12.20	地方自治法の現代的課題	板垣勝彦	板垣勝彦(福高51回卒)
2019.03.05	新入社員に贈る言葉	経団連出版	福高職員	2019.12.20	150人のオピニオンX	丸山直子	笹川平和財団海洋政策研究所
2019.03.05	不安こそ宝物	黒川順夫	丹治隆雄(福高11回卒)	2019.12.20	朝河貫一博士 一没後70年記念シンポジウム一講演録	朝河貫一博士没後 70年記念プロジェクト 実行委員会、他	朝河貫一博士没後 70年記念プロジェクト 実行委員会
2019.03.05	海とヒトの関係学 1,2	秋道智彌	笹川平和財団 海洋政策研究所	2019.12.20	ふくしま道徳教育資料集 第1集～第Ⅲ集	福島県教育委員会	福島県教育委員会
2019.04.26	マクダウェルの倫理学	荻原理	荻原理	2019.12.20	THE WIZARD OF OZ	L.Frank Baum	福高職員
2019.04.26	ハイブリッドな文化	東北大学大学院文学研究科講演・出版企画委員会	東北大学大学院文学研究科	2019.12.20	BE TRUE TO YOUR SCHOOL	Bob Greene	福高職員
2019.04.26	いわき市と七十七銀行平支店 百年の歩み	七十七銀行総合企画部	七十七銀行	2019.12.20	BREAKFAST AT TIFFANY'S	トルーマン・カポーティ	福高職員
2019.04.26	擬人化マンガ大学あるあるこれくしょん	ネピア	福高職員	2019.12.20	ONCE UPON A TIME IN JAPAN	川内彩友美	福高職員
2019.05.29	百科繚覧 VOL.1	東北大学学際科学フロンティア研究所「百科繚覧」編集委員会	東北大学学際科学フロンティア研究所	2019.12.20	NINE STORIES	J.D.サリンジャー	福高職員
2019.05.29	インフラメンテナンス	山崎エリナ	福島県建設業協会	2019.12.20	Aesop's Fables	ラルフ・マッカーシー	福高職員
2019.05.29	海洋白書 2019		笹川平和財団 海洋政策研究所	2019.12.20	不思議の国のアリス	高橋源次、他	福高職員
2019.05.29	忘れられてはならないこと	安藤公男	安藤公男	2019.12.20	Waking Up Just In Time	Abraham J.Twerski	福高職員
2019.05.29	「灰色のまち」から「音楽のまち」へ	阿部孝夫	阿部孝夫(福高14回卒)	2019.12.27	Forrest Gump	Winston Groom	福高職員
2019.05.29	実践的行政管理論	阿部孝夫	阿部孝夫(福高14回卒)	2019.12.27	Charlie and the Chocolate Factory	Roald Dahl	福高職員
2019.05.29	これからの日本、これからの地方自治	阿部孝夫	阿部孝夫(福高14回卒)	2019.12.27	HARRY POTTER and the Philosopher's Stone	J.K.Rowling	福高職員
2019.05.31	続・飛び入学の物理	宮崎紀郎	千葉大学 先進科学センター	2019.12.27	HARRY POTTER and the Chamber of Secrets	J.K.Rowling	福高職員
2019.08.20	影山五郎先生絵画集 —子供達の声が聞こえる—	影山五郎	監原幸榮	2019.12.27	WHOEVER FIGHTS MONSTERS	Robert K.Ressler	福高職員
2019.08.20	ヤップ島が日本だったころ	阿部章子	阿部章子	2019.12.27	IAEA査察官の矜持と愛	川野修靖	川野修靖
2019.08.20	王朝みやび歌枕のロマン	秦澄美枝	秦澄美枝	2019.12.27	県文学集 66 平成30年度版	福島県文化スポーツ局 文化振興課	福島県文化スポーツ局 文化振興課

(その他多数の寄贈圖書をいただきました)

福島県立福島高等学校同窓会 役員および事務局員

令和元年度 同窓会役員

会長	渡辺 健寿	高17回
副会長	内池 浩	高14回
副会長	佐藤 隆	高15回
副会長	久米 允彦	高16回
副会長	片平 薫市	高19回
副会長	戸松 哲男	高19回
常任理事	佐藤 紀男	高11回
常任理事	磯貝 健郎	高13回
常任理事	上竹 豊	高14回
常任理事	永倉 禮司	高15回
常任理事	富田 建一郎	高16回
常任理事	長谷川 好美	高17回
常任理事	熊坂 英二	高18回
常任理事	佐久間 政文	高19回
常任理事	渡邊 誠	高25回
監事	鈴木 芳喜	高19回
監事	松野 孝司	高20回
監事	角田 征雄	高12回
理事	三瓶 昌久	高13回
理事	久家 孝夫	高13回
理事	萩原 義弘	高14回
理事	岡崎 勇三郎	高15回

理事	渡辺 博美	高17回
理事	横山 純	高17回
理事	木戸 孝志	高17回
理事	小林 勇一	高17回
理事	勢島 昇	高18回
理事	斎藤 高紀	高18回
理事	本多 純一郎	高19回
理事	花井 宣明	高20回
理事	伊藤 幹夫	高20回
理事	網代 智雄	高21回
理事	佐藤 信雄	高21回
理事	佐々木 孝司	高21回
理事	中田 茂美	高21回
理事	尾形 克彦	高22回
理事	芳賀 裕	高22回
理事	黒澤 信雄	高22回
理事	大野 順道	高22回
理事	木村 豊	高22回
理事	菅野 日出喜	高23回
理事	加藤 典義	高23回
理事	村上 正文	高23回
理事	江口 淳	高23回

理事	穂積 寿男	高23回
理事	鈴木 浩一	高23回
理事	高橋 雅行	高24回
理事	渋谷 修一	高24回
理事	石原 裕人	高24回
理事	高荒 俊勝	高24回
理事	渡辺 久	高25回
理事	高橋 通夫	高25回
理事	後藤 忠久	高26回
理事	土屋 牧雄	高26回
理事	丹治 正博	高26回
理事	武藤 進	高26回
理事	阿部 芳和	高27回
理事	鈴木 真一	高27回
理事	片平 淳	高28回
理事	五十嵐 俊道	高28回
理事	今関 達也	高28回
理事	加藤 勇治	高29回
理事	金子 弘保	高29回
理事	土田 淳	高29回
理事	加藤 孝一	高30回
理事	島田 久	高31回

理事	八子 直樹	高31回
理事	大和田 利明	高31回
理事	太田 英晴	高31回
理事	樋口 幸一	高32回
理事	藤野 貴	高32回
理事	篠木 雄司	高33回
理事	吉成 健二	高33回
理事	関根 英樹	高33回
理事	渡辺 健二	高33回
理事	手塚 徹	高34回
理事	菅野 剛広	高34回
理事	鈴木 宏幸	高36回
理事	阿久津 順二	高37回
理事	黒森 陽一	高37回
理事	板垣 隆	高37回
理事	大槻 剛人	高37回
理事	三浦 康伸	高39回
理事	日下 直哉	高39回
理事	佐藤 智宏	高39回
理事	引地 孝之	高44回
理事	吉田 大樹	高45回
理事あ	遠藤 武義	高52回

令和元年度 同窓会事務局員

田中 訓樹	高22回
鈴木 公一	高32回
国分 聡	高33回
丹治 崇	高36回
中原 勝	高41回
八巻 勲	高42回
菅野 祐智	高44回
我妻 智	高46回
松井 暢彦	高53回
菅野 陽介	高54回
渡邊 優輔	高54回

同窓会事務局（福島高校内）

〒960-8002 福島市森合町5-72
TEL.024-535-2391 FAX.024-535-2392
<http://www.baienkai.org>

みやぎ梅苑会事務局

〒981-0923 仙台市青葉区東勝山二丁目22-6
TEL.022-275-2887（落合 敏伸）

関東梅苑会事務局

〒150-0043 渋谷区道玄坂1-15-3 プリメーラ道玄坂110号信陵会館内
TEL.03-3462-1225 FAX.03-5489-1358（島田 久）
<https://www.kantobaienka.ne.jp>